

2009年版

環境活動レポート

認証・登録番号 0000828

(2006年 6月21日 登録)

(2008年 6月21日 更新)

- . 環境方針
- . 事業概要
- . 環境目標とその実績
- . 主要な環境活動計画の内容
- . 環境活動の取組結果の評価
- . 環境情報の開示
- . 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

2010年 4月 5日



新和メッキ工業株式会社

・環境方針

1. 基本理念

新和メッキ工業株式会社は、化学物質を取り扱う表面処理業者として、地球環境に配慮した企業活動に、全社一丸となって取り組みます。

2. 行動指針

- (1) 環境関連法規制を遵守致します。
- (2) 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に関する目標・計画を定め、継続的な改善と向上に努めます。
- (3) 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (4) 水の使用量の削減に努めます。
- (5) 廃棄物の削減と適正処理(分別・リサイクル等)に努めます。
- (6) 環境方針の周知徹底を含め、全社員の環境意識の向上を図り、社外に対して公表します。

2005年12月 1日制定

2007年 6月16日改定

新和メッキ工業株式会社

代表取締役社長 瀧見 直人

. 事業概要

1. 事業所名 新和メッキ工業株式会社
2. 代表者氏名 瀧見 直人
3. 所在地 新潟県上越市大字土橋1631番地
4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
- | | | | |
|-----|-----------|-----------------------------|-------|
| 責任者 | 環境管理責任者 | 営業部 | 瀧見 直晃 |
| 担当者 | 環境管理事務局 | 総務部 | 瀧見 弘子 |
| 連絡先 | 電話 | 025 - 524 - 5426 | |
| | Fax. | 025 - 524 - 5498 | |
| | E-mail | takimi@sinwa-mekki.com | |
| | ホームページURL | http://www.sinwa-mekki.com/ | |

5. 事業活動の内容

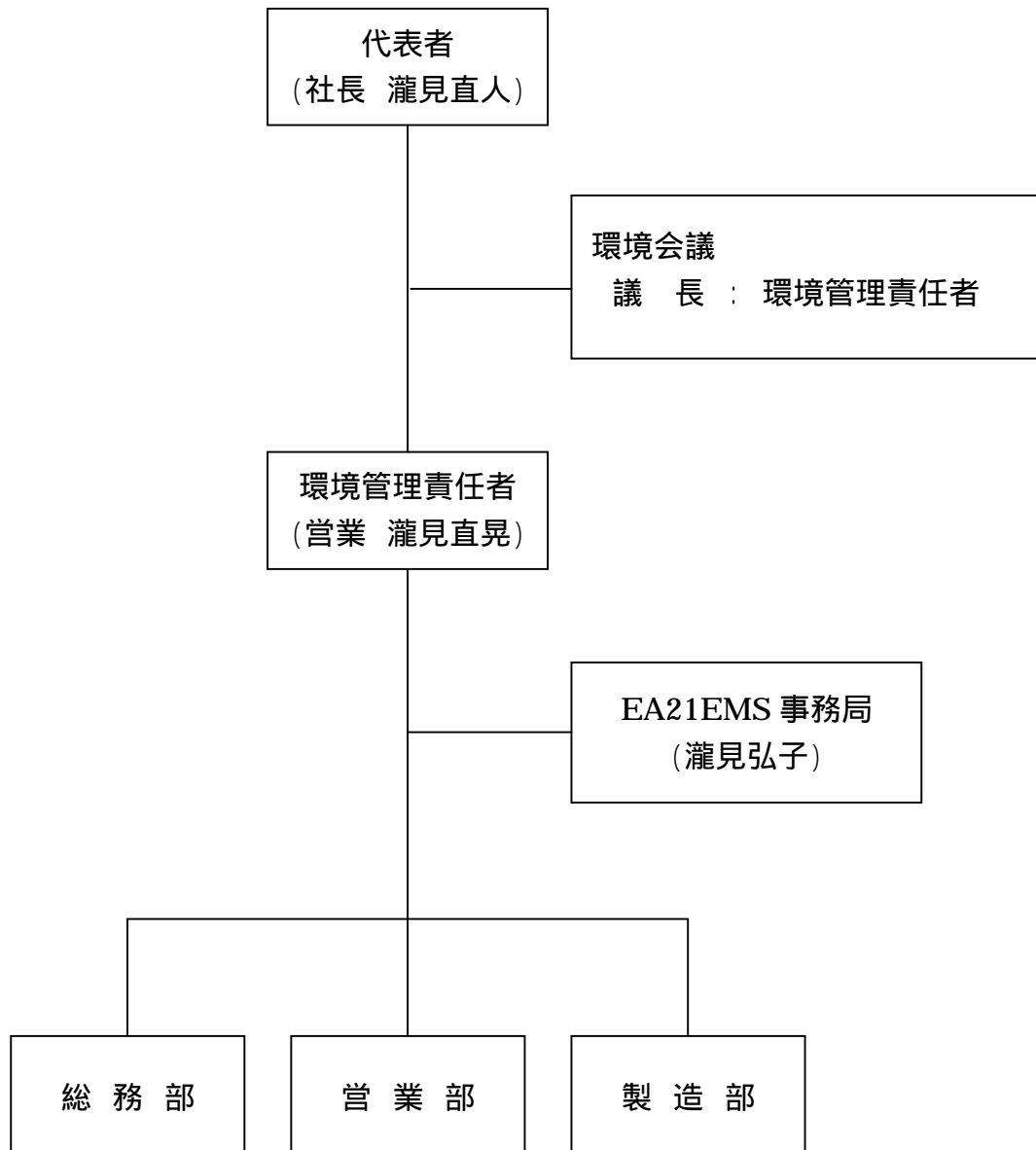
めっき加工及び表面処理であり、その種類は以下に示す通りである。

- (1) ニッケルクロムめっき
- (2) 亜鉛めっき
- (3) ニッケル+錫めっき
- (4) 錫めっき
- (5) ボンデ処理(アルミ素材)

6. 事業規模

項目	2006年	2007年	2008年	2009年
売上高(万円)	15,983	14,713	12,704	9,101
従業員数(人)	16	14	11	11
敷地面積(m ²)	1,479	1,479	1,479	1,479
工場延べ床面(m ²)	763	763	763	763

7. 環境経営システムの運用組織



環境目標とその実績

1. 環境関連法規制の遵守

- ・ 水質検査において、ふっ素の測定値5mg/L以下になった。その他も排水基準に適合している。
- ・ 作業環境測定の特クロロエチレンにおいて、6月の時は第2管理区分の判定であったが、12月の測定では第3管理区分の判定となった。
- ・ 土壌汚染対策として、5月にNiCrめっき作業場所とZnめっき作業場所の2ヶ所において、コンクリート打替工事を実施した。

2. 省資源・省エネルギーの推進と二酸化炭素排出量の削減

項目		単位	2007年	2008年	2009年	
			実績値	実績値	実績値	対前年比
総エネルギー投入量	購入電力	kwh	289,740	246,618	207,613	15.8%
	軽油	L	7,407	6,927	6,975	+ 0.0%
	灯油	L	1,846	1,927	1,206	37.4%
	ガソリン	L	1,956	1,924	1,591	17.3%
	都市ガス	Nm ³	75,815	67,264	59,858	11.0%
二酸化炭素排出量		kg-CO	297,947	262,476	229,655	12.5%

電力・都市ガス・ガソリン・灯油の4項目が削減され、CO₂排出量が12.5%削減された。

3. 水使用量の削減

項目	単位	2007年	2008年	2009年	
		実績値	実績値	実績値	対前年比
上水	m ³	10,833	9,630	8,609	10.6%
地下水	m ³	101	464	193	58.4%

上水使用量は、各ラインの水使用量の管理を徹底した為、約16.2%削減できた。

4. 廃棄物の削減と適正処理

項目	単位	2007年	2008年	2009年		
		実績値	実績値	実績値	対前年比	
産業廃棄物	産業廃棄物合計	t	32.85	29.04	20.39	29.8%
	汚泥	t	27.76	22.09	19.15	13.3%
	廃酸	t	2.41	1.37	0.88	35.8%
	廃アルカリ	t	2.51	5.46	0.36	93.4%
	廃油(トリクレン)	t	0.17	0.12	0	
一般廃棄物	一般廃棄物合計	kg	1999	1651	1603	2.9%
	可燃ゴミ	kg	981.2	907.8	740.1	18.5%
	ダンボール	kg	122.2	84.5	126.5	+ 49.7%
	缶	kg	13.8	4.0	5.2	+ 30.0%
	ビン	kg	72.5	7.3	3.8	47.9%
	金属くず	kg	246.5	217.0	338.9	+ 56.2%
	不燃ゴミ	kg	171.2	160.0	145.9	8.8%
	ビニール	kg	345.1	271.7	242.5	10.7%

産業廃棄物は、全体として29.8%削減した。

一般廃棄物は2.9%削減となった。

5. 今後の目標

項目	単位	2008年	2009年			2010年	2011年
		実績値	目標	実績値	比率	目標	目標
CO ₂ 排出量	kg-CO	262,476	1%削減	229,655	12.5%	1%削減	2%削減
水使用量	m ³	9,630	1%削減	8,609	10.6%	1%削減	2%削減
産業廃棄物	t	29.04	1%削減	20.39	29.8%	1%削減	2%削減
一般廃棄物	kg	1,651	1%削減	1,603	2.9%	1%削減	2%削減

CO₂排出量，水使用量，産業廃棄物の比率，一般廃棄物の比率、及び目標欄は、2008年の実績値に対する削減割合。

2010年、2011年の目標は、2009年の実績値を基準とする。

但しCO₂排出量，水使用量については2009年の売上に対する比率とする。

・主要な環境活動計画の内容(2009年)

取組項目	活動計画の内容	活動記録	該当部門
環境関連法規制の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排出水の水質検査 ・ 騒音測定 ・ 作業環境測定 ・ 健康診断 ・ マニフェストの管理 ・ 浄化槽検査 ・ 特定施設の届出 ・ 消防計画と設備点検 	自主検査記録 騒音測定記録 作業環境測定結果報告書 健康診断結果報告書 マニフェスト 保守点検報告書 特定施設の変更届 消防用設備届 消防用設備点検結果報告書	総務部 社長 総務 総務 総務 社長 社長
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量を1%削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備機器空運転の防止 ・ 不要時の照明の消灯 ・ 蒸気配管の漏れ点検 ・ エコ運転の推進 	環境活動実施記録表	全部門
水使用量の削減	水使用量を1%削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率の良い水の使用 ・ 配管・バルブの漏れ点検 ・ 生活水の節約 	環境活動実施記録表	全部門
廃棄物の削減と適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物を1%削減 ・ 一般廃棄物分別の徹底及び数量把握 	マニフェスト 廃棄物管理表	総務部
環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育訓練計画の作成・実施 ・ 5S運動の充実 	教育・訓練実施記録表	全部門



工場周辺の美化活動



緊急事態訓練の様子



工場内設備の説明

・環境活動の取組結果の評価

1. 環境関連法規制の遵守について

- ・ 水質汚濁防止法 全ての項目について適合している。
- ・ 労働安全衛生法 トリクロロエチレンの作業環境において6月に第2管理区分、12月に第3管理区分と判定される。
検査機関の指導のもと、是正処置を実施し次回測定を待つ。
- ・ その他環境関連法 遵守している。

2. 省資源・省エネルギーの推進とCO₂削減

すべての項目で削減されCO₂排出量としても12.5%削減となった。

これはリーマンショックから始まる世界同時不況による、稼働時間の減少が一番の原因である。

また10月にボイラーのエコノマイザー復旧工事を行なった。それにより燃費が向上し、効率的に燃焼するようになった。

3. 水使用量の削減

生産活動の縮小の為、全体で10.6%の削減となった。

4. 廃棄物の削減と適正処理

生産活動縮小の為、産業廃棄物13.3%削減、一般廃棄物3.7%削減となった。

産業廃棄物について廃酸・廃アルカリの自社処理が可能となり、削減となった。

一般廃棄物についても今後継続をはかる。

5. 来年の取組みについて

二酸化炭素・水については総量による比較ではなく、売上額に対しての排出量と使用量で目標設定する。

今までの取組みにプラスして、品質の向上による環境負荷の低減を目指す。

. 環境情報の開示

2009年1月～2009年12月の排水水の検査結果

検査項目	最小値	最大値	排水基準	自主管理基準
pH	6.5	8.1	5.8～8.6	5.8～8.6
SS	4	4	40	40
亜鉛	0.67	1.6	5	2
クロム	0.12	0.12	2	1
六価クロム	< 0.02	0.09	0.5	0.2
トリクロロエチレン	0.001	0.001	0.3	0.3
ほう素	0.55	0.85	50	10
ふっ素	0.75	4.2	15	8
アンモニア性窒素 亜硝酸・硝酸性窒素	16.56	26.44	500	100

単位：pHを除きmg/

. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2006年に消防署より消防用設備の改善を指摘される。
また同年にふっ素の排水基準に抵触した。

その後は関係機関等からの違反、訴訟等は1件もなかった。

全社一丸となって環境保全への活動に邁進しております。